

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	真田丸の舞台・小諸城の歴史と名君を伝える事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人小諸フィルムコミッション 〒384-0808長野県小諸市御影新田1968番6 連絡先090-4460-5102
事業区分	地域協働の推進に関する事業 特色ある観光づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,796,440円 (うち支援金:2,093,000円)

事業内容

1.漫画本「牧野康哉公物語」の制作

幕末名君と讃えられた小諸城主・牧野康哉公の偉業を誰にでもわかりやすく伝える本を制作。領民目線で善政を貫いた康哉公は地域医療、育児手当、養老手当、防災対策、経済復興など、藩主として領民のための政治を貫き名君と呼ばれその功績を讃える遺徳碑が建てられました。特に当時不治の病として恐れられていた天然痘の予防に種痘をいち早く取り入れ二万以上の領民の命を救いました。先端の予防法に戸惑う領民を安心させるため娘に施した姿勢は領民を思う康哉公の人柄を伝えます。地域の誇りの名君を広く伝える本となり大きな反響がありました

2.小諸城と名君をテーマにしたシンポジウムを開催

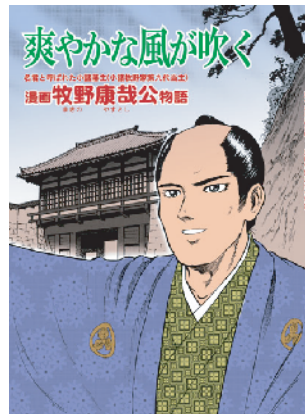
テーマを小諸城と名君に分け2回開催。1回目の小諸城は長野大学と推進している小諸城復元3DCG映像や小諸城絵図面などを紹介した小諸高原美術館の「小諸城展」と連動して開催。2回目は「領民ファーストを貫いた名君に学ぶ」と題して名君牧野康哉公を伝える講演を開催しました。

3.牧野康哉公のキャラクターロゴの制作

肖像画が残っていない名君の存在を多くの人に知っていただくためキャラクターを描きロゴ化しました。今後の地域起しの活動に活用していく予定です。

4.ホームページで28年度の支援金事業を配信

より広く事業の活動を知っていただくため、漫画本の紹介、シンポジウムや長野大学との協働活動の様子、様々なメディアに取り上げられたことをホームページで紹介しました。



事業効果

- ①真田丸の舞台・小諸城の魅力が増加
徳川軍3万8千が本陣おいた小諸城が当時どんな姿をしていたか伝える事業となる。大河ドラマ「真田丸」で小諸城がいかに重要な拠点であったか知られ小諸城の魅力がアップ
- ②名君と呼ばれた小諸城主で地域の誇りを取り戻す
地域の発展が叫ばれるなかその方法が見つからない昨今、全国に誇れる偉人として領民ファーストを貫いた名君の功績はそのヒントとなり地域の誇りを取り戻すキッカケとなった。
- ③次世代の子どもたちへの教材として
名君を伝える漫画本、3DCGで復元した小諸城の映像は子供たちに大きな魅力を与え、この地域が誇れる場所であることを再認識させる教材となった。

【目標・ねらい】

- ①小諸城の歴史や今まで知られていなかった人物を調査し観光資源として役立てることを目標とする。
- ②地域を活性化するため、地元の文化・歴史、人物に焦点をあてこの地域ならではの特色をだし行政や企業、大学と連動して地域発展のモデルを構築する。
- ③次世代の子どもたちへ地域の誇りを継承する。そのための教材の制作やシンポジウムを開催していく。

※自己評価【A】

名君と言われた牧野康哉公の軌跡を漫画にし、その完成度の高さと読みやすさに多くの方に支持していただきました。また江戸時代に残された小諸城絵図面を3DCGで復元するプロジェクトと協働した事業は地域発展の新しい可能性を創出しました。2回に分けて開催したシンポジウムもともに100名を超える人に来ていただき大きな反響がありました。

今後の取り組み

- ・小諸市、小諸市教育委員会、長野大学と連動し、魅力ある地域を次世代の子供たちに伝える事業を展開する計画。
- ・地域の誇りを取り戻すため、小諸と関係のある偉人を武将・城主編、芸術・文化人編と分け紹介する事業に取り組む。
- ・長野大学、小諸市と協働して推進している小諸城復元プロジェクトをさらに推し進め、復元した小諸城の映像を常設で多くの皆様に見ていただく環境を整える活動に取り組む。
- ・小諸を舞台とした映画、テレビ等のロケ誘致を推進。